

草加市立病院 公開・オプトアウト書式

受付番号 令和3年度-20番	
研究課題名	大腸憩室出血の安全かつ適切な内視鏡条件の検討
情報の利用目的、利用方法及び個人情報保護(他の機関へ提供される場合はその方法を含む)	大腸憩室出血は高齢者の血便の最も多い原因の一つです。止血方法として最も安全性、有効性が高いとされる大腸内視鏡検査でもその止血率は30%前後と低いのが現状です。自然止血すればよいですが、輸血やカテーテル止血術、手術による腸管切除が必要となるケースも多々あります。本研究では多施設のデータを後方視的に解析し、大腸憩室出血の内視鏡を安全かつ適切に行うための至適条件を検討します。個人を特定できない形で(患者ID、年齢、性別は除く)データを収集、管理、解析いたします。
利用または提供する情報の項目	臨床情報、血液検査データ、CT画像、内視鏡画像、レポート
対象者及び対象期間	2016年1月-2021年10月
利用の範囲	草加市立病院 消化器内科、国保旭中央病院 消化器内科、都立墨東病院 消化器内科
試料・情報の管理について責任を有する者	草加市立病院 消化器内科 渡辺 翔
問い合わせ先	草加市立病院 消化器内科 048-946-2200(代表)
共同臨床研究機関	国保旭中央病院 消化器内科、都立墨東病院 消化器内科
備考	